学校便り『ツワブキ』

平成二八年九月十二日　第四号

作成者　校長

エイサー練習

空手練習

体育祭に向け全員まっしぐら

三年に一度の体育祭です。頑張ります。応援お願いします。

第66回全国高等学校PTA連合大会千葉大会　基調講演　千葉敬愛短期大学　学長　明石要一氏

本校からはPTA会長、副会長、校長が参加しました。会場が幕張メッセ、アイパホテル&リゾート東京ベイ幕張等で全国に誇れる施設でした。ひとき、わ挨拶や講演のきかっけとなった田中健作氏が、千葉県知事の挨拶（原市長）の選挙で、「公約に掲げた「子育て支援」。女性の優先雇用、子育て世代の幼稚園の無償化、お年寄りの医療費の無料化、高齢者の記念品の贈呈、強い農業の活性化、女性の就業支援、優先順位の見直し、戦争法案の廃止、労働者の生活の安定、ねたみ、そねみ、やっかみ、ののしり、お互いの足の引っ張り合いの時代は終わった。二つの劇団による漫才、物まね、落語、日本昔話、朗読、聞かせ語りまで、盛りだくさんの内容でした。

高校生の間で体験活動の格差が生まれ始めています。15歳までに年中行事など豊かな体験をしたことがない者とそうでない者の二極化が進んでいます。学力や体力だけでなく、体験の世界でも格差があるのです。次のようなデータがあります。子どもの貧困層16％。中学一年生で「小学校も中学校も楽しくなかった」と答える者が10％います。それから、高校卒業後、進学も就職もしない者が一割前後います。彼らはフリーター、ニート予備軍になりかねません。一億総活躍社会の実現には、これらの格差是正が必要です。元気な高校生をより元気にするのは当然です。と同時に悩み苦しんでいる高校生を元気にさせるアクションプランの推進が求められます。そこで、高校PTAの登場です。次の三つの役割をお願いしたいのです。

一つ目は、高校生の基本的な生活習慣の徹底化です。例えば、「早寝・早起き・朝ご飯」の推進です。二つ目は、オリ・パラを目指して、高校生のボランティア活動参加の水路づけです。PTAが高校生の参加促進の支援をしてほしいのです。三つ目が「褒めて、叱って育てる」運動の推進です。高校生は褒められた経験や叱ってもらった経験が乏しいのです。今一度「よい行いは褒める、悪い行いは叱る」運動を起こしてほしいのです。

研修では、サンヨーエアポートサービス（企業）訪問、早稲田大学ツアー、鋸山・地獄のぞき、地曳き網体験。勉強になりました。とにかく、歩きました。

特別第一分科会

テーマ　学校の危機管理とPTA

私の参加した分科会は右テーマでした。千葉科学大学教授上北彰氏の基調講演に始まり、千葉科学大学准教授戸塚唯氏氏のコーディネイトにより四人のPTA代表と二人の高校教師によるパネルディスカッションが行われました。会場からも様々な意見が出て活発でした。個人的に印象に残った内容を二点あげます。

一点目は「自立」とは自分を社会の中心に位置づけ、自ら「良し」と判断できるようになること。この「良し」は周りの意見等も聞き入れていることである。もう一点は、高校生の進路について「定期航路方式」か「大航海方式」どちらがおすすめか、についてです。道を作ってあげて歩ませるのは安全であり確実であるが、やはり自分の道は自分で決めさせ、それをサポートするのが良いのでは。後者がより好意的でした。

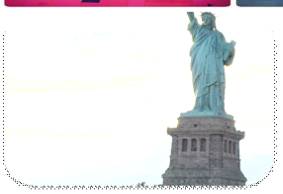
開会式　全体会　基調講演　分科会記念公演・特別分科会　表彰

アトラクションでは、地元高校生の大活躍・喝采でした。テーマソング独唱、吹奏楽部①、吹奏楽部②、ジャズ・ストラオケ部、鼓笛部、ダンス部、同好会

PTA作業お疲れ様

保護者・生徒・職員皆さん汗びっしょり　感謝です

My journal from Wyoming August

こんにちは。現在アメリカ、ワイオミング州に長期留学中の三年一組☆☆☆☆です。8/16に沖縄を離れ、二週間が経ったところです。毎日頭をフル回転させ、アメリカ生活を送っています。私の参加するプログラムは県費留学で十か月アメリカ国内の公立高校に交換留学生として派遣されるものです。これから十か月みなさんに留学生活の様子をお届けし、少しでも留学に興味を持っていただけたらと思います！

楽しそうな画像など含め、ニュースレターが届いています。どこかで紹介します。